

**第3回 中の島公園指定管理者候補者選定委員会及び
吹田市立中の島スポーツグラウンド指定管理者候補者選定委員会
議事要旨**

【会議名】

第3回 中の島公園指定管理者候補者選定委員会及び吹田市立中の島スポーツグラウンド指定管理者候補者選定委員会

【開始日時】

令和6年12月18日（水）午前10時00分～午前11時45分

【開催場所】

吹田市総合防災センター（DRC Suita）7階 会議室

【次第】

- 1 開会
- 2 議事
 - （1）応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告
 - （2）書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査
 - （3）答申
- 3 閉会

【配布資料】

(資料1) 次第

(資料2) 中の島公園魅力向上事業募集に対する申請書類の要件審査結果

(資料3) 書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査質問・回答票

(資料4) 指定管理者候補者選定 評価点数表

(資料5) 指定管理者候補者の選定結果について (公表イメージ)

(資料6) 応募書類 (副) 1 団体

(資料7) 中の島公園魅力向上事業公募設置等指針、並びに中の島公園及び吹田市立中の島スポーツグラウンド指定管理者募集要項

【出席委員】 ※順不同、敬称略

委員長 : 山田 宏之 (大阪公立大学農学部 教授)

副委員長 : 竹田 和真 (大阪産業大学デザイン工学部 准教授)

委員 : 井上 芳恵 (龍谷大学政策学部 准教授)

委員 : 大島 博文 (大阪成蹊大学経営学部 教授)

委員 : 小山 奈邦 (近畿税理士会 吹田支部)

【欠席委員】

なし

【会議の公開・非公開】

非公開 (審査内容等を設定する委員会であり、審査における公平性の確保と委員会における自由な意見交換を阻害する恐れがあるため。)

【傍聴者の数】

—

【発言の要旨】

1 開会

事務局：定刻となりましたので、ただ今から、第3回中の島公園指定管理者候補者選定委員会及び吹田市立中の島スポーツグラウンド指定管理者候補者選定委員会を開催させていただきます。委員の皆様方には、7月1日の第2回会議におきまして、御審議をいただき、誠にありがとうございました。本日の会議では、「応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告」、「書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査」を行い、指定管理者候補者を選定していただき、「答申」をいただきたく存じますので、よろしくお願いいたします。なお、本日の会議は、過半数の委員の御出席により成立していることを報告いたします。

2 議事

(1) 応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告

委員長：それでは、議事に入りたいと思います。まず、「議事1 応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告」を事務局からお願いします。

【事務局より応募状況及び応募書類の要件審査結果についての報告】

委員長：ただ今の報告に関しまして、何か御質問、御意見等がありますでしょうか。ご質問がないようであれば、議事2「書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査」に入ります。

(2) 書類、プレゼンテーション及びヒアリング審査

委員長：はじめに、審査概要の説明と評価点の報告を事務局からお願いします。

【事務局より審査概要の説明と評価点についての報告】

委員長：財務状況等について小山委員より何か補足ありますでしょうか。

委員：今初期投資にかかる資金調達計画に関しては、自己資金で賄う予定とのことですので、問題はないかと思います。また、収支計画に関しても令和8年度はマイナスになっていますが、その後利益がでる計画となっており、金額に関しても、現在指定管理者をされている企業もグループ団体として構成されているため、費用等が現実的な金額で計算されていると考えられます。法人等の経営状況（財務基盤）について、A社、B社、D社、E社、F社に関しては売上・利益・流動比率・自己資本比率等について気になる点はありません。C社については、自己資本比率が15.8%と少し低いですが、売上高と利益も直近3年でしっかり出ており、流動比率も134.4%と100%以上あり、現預金も5億8140万円ありますので、経営状況としては安定していると考えられます。自己資本比率が少し低い点からC社の評価を10点から1段階下げ、6社の平均をとり9.8点としております。

委員長：ただ今の事務局の説明を含め何か質問ありますでしょうか。

委員：実績について、現在進行形で指定管理をしているという実績があげられています
が、事務局としては指定管理期間が終了していないものも実績に含めるというこ
とでよろしいでしょうか。

事務局：現在進行形で指定管理業務に携わっている者として、管理状況等をみると良好で
あり、実績として評価できると考えています。

委員：分かりました。

委員：再整備費の低減について、計算式通りでは答えが出ないことになっていますが、
過去の実績などを踏まえて0点にするということで良かったでしょうか。

事務局：過去の江坂公園で同じく0点にしています。再整備費について低減の提案を求め
ていたものの、市が想定している最大金額そのままのため加点はなく0点という
考えです。

委員長：他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では次にヒアリングで質問すべき事
項を確認ということで。委員の皆様方には事務局経由で応募者に対して事前質問
していただいております、その回答が、資料として用意されております。こちらご覧
になってどうでしょうか。事務局から説明はありますか。

事務局：ヒアリングの時間が15分しかありませんのでこの内容を全て質問する必要もあ
りません。また、ここの項目以外の質問をしていただいても結構ですし、この回
答に対する質問をしていただいても結構です。

委員長：分かりました。皆様何かありますでしょうか。特にならなければプレゼンテー
ション及びヒアリング審査に進めさせていただきます。では事務局に進行をお願い
します。

事務局：それでは、応募者に入室していただきます。

【応募者1入室】

事務局：本日はよろしくお願ひします。5分以内で機器の設置等を行っていただき、プレ
ゼンテーションの準備が整いましたらお声掛けください。

【応募者によるプレゼンテーション】

事務局：ありがとうございました。続いて、ヒアリングを行います。委員から質問を行
いますので、簡潔にお答えください。

委員：提案書によると約20年間人工芝の全面張替えはなしとなっていますが、事前質
問への回答として配布頂いた資料では最長14年の使用実績となっています。こ
の20年とはどういった点からのことでしょうか

応募者：今ご提案している人工芝が発売されてからちょうど14年前でして、初めて施工
した施設が14年しかたっていないという状況でございます。おおよそのロング
パイル人工芝の場合は10年ひとくりとして張替えということになっています

が、今のところ張り替えようという検討すらしていない状況です。また、当時敷設した人工芝より約1センチ長い人工芝のものを今回採用する予定ですので、部分張替えは必要かとは思いますが、18年から20年くらいの期間はメンテナンスをしっかりとやりながら持続できると考えております。ただ実績は14年しかないのでお約束できるものではありません。

委員：20年という数字はメーカーの保証ということではなく、今のところの実績を見る限りこのくらいの期間は使用できそうという数字ということですね。

委員：現状のグラウンドは雨の後、水が溜まるなど排水が良くない場所ですが、人工芝を敷設する際の下地についてはどのような工夫を行う計画ですか。

応募者：人工芝グラウンドの場合、路床、路盤、人工芝ということで路床を砕石で固めてその上に透水性アスファルトを敷設します。グラウンドに適正な勾配を設け、ほとんどが表面排水で流れていくのですが、透水性のアスファルトから浸透するまでの間に表面排水で流れていくよう適切な排水計画をさせていただき、敷地から出ていく流量もありますので自由勾配側溝も考え、時間差をおいて排水していく計画をしていきたいと思っております。

委員：排水柵のマイクロプラスチック対策について、受皿を設けるとのことですがどのくらいの頻度で清掃など点検を行う必要があるのでしょうか。

応募者：交換用具を含めて2個セットで設置させていただきます。場所によってどのくらい溜まるかはありますが大体1ヶ月に1回点検していただければいいと思っております。もし雨の頻度が多ければもう少し定期的に見ていただき入れ替えるという形になります。

委員：日常点検などの中の項目として排水溝のチェックというものが入るのですね。

応募者：はい、集水柵を開けてフィルターを交換するだけです。1人で簡単に行えます。

委員：リスク管理のところでお伺いしたいのですが、利用者数が計画を下回り、収入が想定を下回る場合、収入増加に向けた計画の見直しを行うとともに、自主事業などの収入で補填するとありますが、補填しようとする自主事業などの頻度も増え一般利用とのバランスが当初と違って来るかもしれませんし、利用が高まってくれば管理のやり方や頻度も変わってくるかもしれないと想像をしますが、実際にこのような状況に陥ったときに公園全体の管理に対する影響はどうでしょうか。あるのかないのか、どのようにお考えですか。

応募者：当然ながら管理への影響がない様に運営致します。その理由の1つとしては3社地元企業でありますので、しっかりこの事業に向き合っていきます。加えてそれぞれの分野のプロが構成団体に入っておりますので、そこで知恵を出します。ただ一方リスクと言うと駅から遠いのでロケーション的には少し難しい状況であると認識しております。そのため収益施設を作ったからと言って来園者が増えるということには直接結びつかないと思っておりますので、地域住民の方などに公園

協議会を通じて参画していただき、まずは地元発信で地域の方に来ていただける公園にすることで、地域の方からの自発的な意見は出てくると思っておりますので、ワークショップなどからの意見など地域の方発信の意見を組み入れ公園の特性を生かしたイベントなどをしっかり作りあげ収益のベースを作っていきます。加えて維持管理の方はしっかりとやっていくという自信はございます。

委員：防災の観点から、防災拠点としていくということで、地域の防災コミュニティと連携していただきたいと思っております。また、この地域について吹田市が地域防災計画等でいろいろな災害を想定して備えていると思います。例えば事前質問では台風にも備えた取り組みがありますが、台風以外ではこういった災害を想定していますか。

応募者：台風以外ですと、地震また津波も影響がないことは無いのではないかと考えており、一時的に避難してくる場ということを踏まえ、人工芝を利用した取り組みとして地域や消防等と連携して年1回は何かしら訓練をやっていきたくと考えています。

委員：ハザードマップ等で確認はしていますか。

応募者：確認しています。

委員：具体的に火災や浸水に関してはどう考えていますか。

応募者：備蓄などを考えています。

委員：延焼が大規模火災の時に一番怖いとは思いますが、必要な空地面積や延焼しにくい植栽など配慮した計画となっていますか。

応募者：公募対象施設を新たに作りますが、そこは周りからの影響のない場所に作ります。また、人工芝を敷設するグラウンドには照明や放送設備もあるのでしっかりと誘導できると思っています。また車の乗り入れも可能なため、消防、警察等の車も入ってくることができ、広域避難地の役割は果たせると思っています。

委員：防災無線などの連携も考えていって欲しいです。

応募者：行政との連携が大事だと思っておりますので日々のコミュニケーションから大事にしていきたいと思えます。

委員：利用促進をお願いしたいと思っております。公園は春夏秋冬で季節によって利用が違って来る、春の季節の良いときだけ使われるなどがありますが、年間を通じて使われたらいいなど。また例えば雨の日とか夜間など年間を通じて利用しにくい時間帯など、どのように工夫されているかなどお聞かせください。

応募者：まず年間を通じて言いますと、最近は夏が長くなって暑く、現在管理中の公園でも暑くなると来園者は一気に減ります。そういった中で、公園協議会の委員から夏場の子ども達の遊べるものという意見、水遊びは安全性を確保した上で重要であるという地域の意見を素直に組み入れ1度トライアルで水遊びイベントを行

ってみたということがあります。こういった季節に応じたイベントを行っていきたいと考えています。特に子供向けですと、それを見守る親、祖父母が来園し笑顔になるというサイクルをまず作りたいなと思っております。一方で夜間に関しては賑わうことが適切かどうかという判断もありますので、近隣住民の方に配慮しつつ入口の所には公園灯を増やし明るさの確保を考えております。

委員：公園のボランティアは今いらっしゃるかと伺っています。今までワークショップでご参加された方や近隣住民の方とどのように協議会での議論を進めていくのか。地元の方が愛着を持って主体的に活動をしていかれるために何か考えている工夫などお聞かせください。

応募者：ボランティアに関しては数年間いない状況を把握しておりますので、ボランティアの募集は行いますが一旦自分たちでボランティア登録を行います。その活動を発信していくことで地域の方の仲間を増やしていきたいと思っております。気軽に参加できるようにして仲間を増やし、そこから自発的なボランティアを増やしていければと考えております。

委員：活動を Web など情報発信を行うとのことですが、なかなか興味のある方以外は見に行かないと思っておりますので、近隣住民や広域の方に向けて情報発信の方法について、Web 以外の発信方法の工夫があればお聞かせください。

応募者：これまでの経験からになります。自治会を通じた理解・納得・共感が重要だと考えております。また、吹田市では市報の愛読率が高いと考えております。そのため市報などを通じた行政と連携したツールを活用して中の島では何かをやっているという雰囲気醸成していきたいと考えております。

委員：他公園の経験などを通して中の島公園で活かしていきたいことなどあればお聞かせください。

応募者：各公園で特性は違って来るため、それぞれの特徴に合わせた魅力向上に取り組んでおります。今回の公園ではスポーツ施設と一体となっているという特徴があり、周囲は低層住宅が中心となって昔からいらっしゃる住民の方がいる一方、スポーツ施設の利用者は広域からいらっしやいます。その方々が公園で交わって新たな交流・賑わいだけでなくコミュニティができるような公園にしなければなりません。そのためには住民の方と目線を合わせ行政と協力していくことが鍵だと考えております。

委員：先ほど夏の暑さということがありましたが野球やサッカーの利用は結構あると思います。今回の工事でできるパークセンターは1階に広いスペースがとられていますが、例えば野球やサッカーの試合の後クールダウンなどで気軽に使うことはできませんでしょうか。

応募者：もちろんできます。また、レベルに応じてですが公募条件にもあるように医務室を設けており、そこでは症状が重い方の一時休養スペースも設けております。また、パークセンターは開放的なスペースを考えておりますが、2階の会議室など

の所室にも空調を完備しておりますので状況に合わせてそちらでも対応可能です。

委員：昨今の夏の暑さということもあり公園の利用者からすると何かあれば涼めるところができたということは非常に有効だと思うのでこの施設をぜひ活用して欲しい。

委員：公募対象公園施設のカフェが提案されていますが、その施設の周辺に広場のようなテーブルベンチが設置されているスペースがありますが、そちらは公募対象公園施設に含まれているということでしょうか。

応募者：収支計画上は含めております。

委員：では公園の管理に関しての芝生管理であるとか草地管理に関してはそのスペースは含まれていないということですね。公募対象公園施設の管理の中でそのスペースは管理するということですね。

応募者：その通りです。事前質問にもありましたが週末限定でバーベキューをやる計画となっています。なぜやるかと言いますと要望があったということもありますが、収支上カフェだけでは厳しいのでバックアップとして計画しています。一方でバーベキューに対して懸念している住民の方がいることも把握していますので、しっかりと準備をして行っていきたいと思っております。基本的にはその広場も含めて公募対象公園施設の一環と考えております。

委員：カフェ以外でもバーベキューを慎重にしていくということで、公募対象公園施設の事業の一環としてやられるということですね。

応募者：その通りです。

委員長：どうでしょうか、ほか質問などはございませんか。無いようでしたら終わります。

事務局：では以上でプレゼンテーション及びヒアリング審査を終了させていただきます。応募者の皆様お疲れ様でした。

【応募者1退出】

事務局：今回は応募が1団体のため、プレゼンテーション及びヒアリング審査は終了となります。採点と評価について委員長の方から進めていただければと思います。

委員長：ではプレゼンテーション及びヒアリング審査は終了ということで採点ということになります。採点は資料3に直接書き込むということで委員の皆様方には採点していただき、いったん集計します。集計後再度配布しますので訂正も可能です。そういった意味で仮採点という形で提出をお願いします。できましたら事務局に声をかけて頂ければ回収します。

【採点及び集計結果配布】

委員長：ただ今皆様に採点していただいたものを集計して事務局から一覧表を作ってみました。これを元に意見交換となります。まず事務局から資料内容について説明してください。

事務局：各委員の評価点数をここの表に転記し一旦集計したものでございます。公募設置管理制度関係で60点未満と評価した委員数が0人、指定管理者制度関係も0人ということで、委員の過半数ではありませんので、落選とまらない状況です。集計結果の妥当性や、各委員の点数のばらつきなどをご確認いただけたらと思います。

委員長：委員の皆様方は一度ご確認ください。両方とも60点以上をクリアできているという話ですが、全体の点数やご自身が付けた点数について何か意見等がありましたらお願いしたいと思います。他の人に合わせる必要はありませんので。特に大きな偏りはないと思いますが。

委員長：特にご意見や修正したいということが無ければこれを最終結果ということで、この結果を基に事務局から報告をお願いします。

事務局：この結果を持って応募者1を指定管理者候補者に選定するという状況ですが、選定委員会の答申とするかどうかご審議をお願いします。

委員長：皆様よろしいでしょうか。

委員長：では異議なしということで。指定管理者候補者に決定ということでお願いします。委員の皆様方には講評ということで、何でも結構ですので一言ずつお願いします。

委員：パークセンターは使いやすい施設の提案になっており、昨今の猛暑の中あのような施設ができたことはこの公園に限らず都市公園として非常に良い事例でないかなという感想を抱きました。

委員：さまざまな取り組みや実施体制について考慮された提案がされていると思いました。今回いろいろな提案が評価されているということで、収益が想定より下回った場合などにおいても、吹田市と協議した上で出来ないなどという事態にならない様に市民との約束として認識し、今回の提案を誠実に履行していただきたいと思います。

委員：年間を通じて有効活用して欲しいなということがありますので、特に暑さ対策が重要ななという話も合ったと思います。クールスポットの設置やシャワー施設など暑さ対策をしていくことが利用促進において重要であると思いました。

委員：防災面において、ハードだけではなく、地域の防災コミュニティと連携した防災訓練の実施や施設の案内をしてあげるなど日頃からの連携を充実させていただきたいと思います。そういった意味では施設内のサインについて、非常時にはどういったところに移動すればいいのか、また暑さ対策についてもどういった施設をどこに設置しているのか分かりやすいサインが必要かなと感じました。

委員：地域の方との関係づくり・ボランティアを含め、自らボランティア活動をしていくという話でしたが、なかなか地元の自治会との連携もみられない地域で広域的な利用をされる公園という位置付けかと思いましたので、如何に地元の方を巻き込んでいくかということと、公園の管理をただ手伝うボランティアではなく、地域の方が自ら公園で楽しむような取組、グループ作りなどを通して公園での活動に繋いでいくような取組が期待されると思いました。

委員：他公園での管理運営をされているということでノウハウを生かしつつ、スポーツ施設が併設されているという本公園の特徴を生かしていくことで収益施設の利用者が増えるなどにもつながるのではないかと思います。

委員：地元住民とスポーツ施設利用者との新たなコミュニティはなかなか理想通りには行きづらく、接点がなかなか生まれないと思うがこの施設の特徴を生かし新たな活動、活躍の場が生まれれば良いと思います。

委員：さまざまなイベントを実施する提案となっているので、今まで利用していない方が来園し地域の中でにぎわう公園になっていけば良いと思います。

委員長：皆様ありがとうございました。答申の別紙として講評をつけます。この内容については各委員にも確認させていただきますが、委員長一任させていただきますよう皆様よろしく願いいたします。

(3) 答申

委員長：では答申として確定したことについて事務局から報告をお願いします。

事務局：指定管理者候補者に選定されたのは「すいた中の島 SMILE パークパートナーズ」となります。

委員長：本選定委員会としては先ほど報告ありました「すいた中の島 SMILE パークパートナーズ」を中の島公園及び吹田市立中の島スポーツグラウンドの指定管理者候補者に選定するというので、先ほどと重複しますが委員会から市への答申ということとさせていただきます。

委員長：本日の委員会はこれで終了させていただきます。今後の手続きとありますので、事務局の方から説明をお願いします。

3 閉会

【事務局から今後の流れの説明】

事務局：閉会にあたりまして、事務局を代表して、吹田市都市魅力部長及び土木部長よりお礼を申し上げます

【部長あいさつ】

事務局：それでは、本日の会議をこれで終了させていただきます。ありがとうございました。